

♪「ふわふわ、ふわり、ハートフルコンサート」ぶらり訪問記♪

ウインドバスカーズ第9回定期演奏会

主催 ウインドバスカーズ埼玉アコーディオングループ

日時 2010年5月15日(土)14:00 開演
会場 さいたま市プラザノース・ホール
交通 埼玉新都市交通(ニューシャトル)
「加茂宮」駅、徒歩 10分
講師 松永勇次 / 指揮
参加費 1,500円

会場は、都心から向かうと鉄道博物館の一つ先になります。都営地下鉄を一回り小さくしたレールの無い緑色の小型の電車「ニューシャトル」内には鉄道博物館に遊びに来た親子連れが多く見られました。

開演時間に少し遅れてしまい、第1部の4番目、4人の男性によるアンサンブル「蘇州夜曲」から客席に入りました。

第1部で印象に残ったのは、滝廉太郎作曲の「荒城の月」をジャズ風にアレンジした演奏(全員合奏)です。写真①のように指揮者無しできれいに合わせていたのはすごいです。荘厳なイメージの中にとけ込んだジャズの香りは不思議な世界でした。

第二部最初のアコーディオンとお話「ワニのゲーナのアコーディオン」は、これも写真②のように、舞台上手に小編成の伴奏陣を配して中央ではチェブラーシカ役とゲーナ役(共に埼玉合唱団の団員)とでミュージカル仕立ての劇を演じ、残り全員は下手で歌を担当。緊張の続くコンサートの中ですべてもホットな舞台です。このような取組みができるのもウインドバスカーズならではのプログラムだと思いました。

演奏力のある方たちなので独奏でも現代の作曲に挑戦したり、ジャズに仕立てたりと意欲的でした。

今回のコンサートを通して感じたウインドバスカーズの魅力は、ドラムスや、コントラバス、ピアノ、合唱団等々、音楽を愛する色々な方とのつながりがしっかり出来ているのでアンサンブルに広がりが出ていたことではないでしょうか。そのことが、また新しいことへの挑戦へとつながっていくのだろうと思いました。(乙津:記)



←
①

↓ ②



